

シリーズ累計150万部突破！

2019年4月17日

宝島社

「響け！ユーフォニアム」シリーズ

“最終楽章・前編”4月17日発売！

劇場版アニメ最新作・第4弾 4月19日より公開

株式会社宝島社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：蓮見清一）は、宝島社文庫『響け！ユーフォニアム 北宇治高校吹奏楽部、決意の最終楽章 前編』を2019年4月17日に発売します。

「響け！ユーフォニアム」シリーズは、吹奏楽コンクールで全国大会金賞を目指しながら、成長する高校生たちの姿を描いた青春小説です。瑞々しい感性で描かれる青春時代のリアルな空気感、人間関係の描写が10代を中心に吹奏楽経験者などから大きな共感を呼び、累計150万部を超える人気シリーズとなっています。

シリーズ最新刊となる本書では、主人公の久美子が3年生となり、新体制となった・北宇治高校吹奏楽部に再び波乱が巻き起こります。少々クセのある新入部員に加え、今年は強豪高校からの転入生が入部。久美子たちは葛藤しながらも悲願である「全国大会金賞」を目指して奮闘していきます。

また、2019年6月にはいよいよシリーズの集大成となる『響け！ユーフォニアム 北宇治高校吹奏楽部、決意の最終楽章 後編』が発売され人気シリーズがついに完結します。

さらに、本書発売の2日後の2019年4月19日より『劇場版 韶け！ユーフォニアム～誓いのフィナーレ～』が映画公開されます。京都アニメーションにより2015年にTVアニメ化されたことを契機に、2016年4月に初めての劇場版が公開。その後も映画化が続き、今回が劇場版アニメの4作目になります。

著者の武田綾乃さんへの取材も可能ですので、お気軽にお問い合わせくださいと幸いです。

宝島社では、企業理念である「人と社会を楽しく元気に」のもと、今後もより多くのお客様に喜ばれる良質なコンテンツを企画・提供していきたいと考えています。



【著者コメント】

「響け！ユーフォニアム」シリーズもいよいよ最終楽章となりました。主人公である黄前久美子も、ついに高校3年生です。優柔不断で他人に流されがち、そんな彼女は主人公らしくない主人公なのかもしれません。ですが、彼女のそうした柔らかな性格が北宇治を支えてくれていたのだと思います。最終楽章ではそんな久美子の前に一人の転入生が現れます。強豪校からの転入生、黒江真由です。彼女の担当楽器はなんと、久美子と同じユーフォニアムでした。自分の存在を脅かす人間が現れた時、久美子は……。滝が赴任して3年目、久美子たちにとってはこれが最後のコンクールとなります。長い物語となりましたが、どうぞフィナーレまでお付き合いください。

著者取材可能です！



武田 綾乃(たけだ あやの)

1992年、京都府生まれ。2013年、同志社大学在学中に宝島社主催の第8回日本ラブストーリー大賞の隠し玉作品『今日、きみと息をする。』（宝島社）で作家デビュー。その後、在学中の2年生のときより自身の経験をもとに『響け！ユーフォニアム』シリーズを執筆。物語の舞台である京都府宇治市では、モデルとなった場所やゆかりのある場所が“聖地”と呼ばれ、全国から多くのファンが訪れ盛り上がりを見せてています。

さらに、原作、TVアニメのヒットを受け、地元宇治市の観光大使に就任。幅広く活躍しています。



2019年4月19日公開！劇場版 第4弾
「響け！ユーフォニアム～誓いのフィナーレ～」

原作：『響け！ユーフォニアム 北宇治高校吹奏楽部、波乱の第二楽章』前編・後編
【あらすじ】

2年生となった黄前久美子は、新しく入った1年生の指導にあたることに。
「全国大会金賞」を目標に掲げる吹奏楽部だが、問題が次々勃発して……！？

©武田綾乃・宝島社/『響け！』製作委員会

宝島社文庫『響け！ユーフォニアム 北宇治高校吹奏楽部、波乱の第二楽章 前編・後編』を原作とした、劇場版、第4作目。**2年生の久美子たちの物語を完全新作の映画として製作。**

アニメ「響け！ユーフォニアム」シリーズは、これまでにTVシリーズ2作・劇場版3作が製作され、京都の宇治を舞台とした緻密で美しい背景や、楽器を操る指先・演奏者が繊細に描写され話題に。見ごたえのあるリアルな演奏シーンは、従来のアニメファンだけでなく多くの人の反響を得ています。



【劇場版第4弾 原作小説】
宝島社文庫
『響け！ユーフォニアム 北宇治高校吹奏楽部、波乱の第二楽章』前・後編